平成30年度

環境活動レポート

活動期間　平成30年4月～平成31年3月

有限会社　そおリサイクルセンター

発行　平成31年4月30日

有限会社 そおリサイクルセンター

環 境 方 針

私たちは、豊かな恵みを育む美しく雄大な大隅山系と志布志湾を望む地にあって、より積極的に環境保全に取り組み、地球に優しく、地域環境を守り、地域社会に貢献していくという大きな使命と責任を持ち、当社の事業を推進してまいります。

主事業として、一般・産業廃棄物の収集・運搬及び中間処理を行うにあたり、地域社会に信頼される企業であり続けるため、具体的な目標をもって事業に取り組みます。

＜行動指針＞

1．環境法令・条例等の法的要求事項やその他の要求事項を順守します。

2．省エネルギー、資源の有効利用を目指して、環境負荷削減に取り組みます。

（1）電力消費並びに収集運搬車・重機の燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
（2）使用原材料の省資源、廃棄物の４Ｒの推進
（3）水資源の節水
（4）化学物質の管理
（5）原材料及び事務用品のグリーン調達
（6）環境負荷を削減するリサイクル技術・廃棄物処理技術の推進による製品の販売
（7）地域社会の環境活動への積極参加と地域環境保全の推進

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

3．環境保全のための従業員教育を積極的に行います。

4．環境方針は全従業員に周知するとともに、社外に公表します。

制定日：２００９年4月1日
改訂日：２０１２年4月1日
改訂日：２０１８年4月1日

有限会社 そおリサイクルセンター
代表取締役社長　宮地 光弘

Ⅰ．　事業活動の概要

本社工場（そおリサイクルセンター）

1．事業所名及び代表者名
有限会社　そおリサイクルセンター
代表取締役　宮地　光弘

2．事業場
（1）本社工場（そおリサイクルセンター）
〒　899-7301
鹿児島県曽於郡大崎町菱田1218番地48

大崎有機工場

（2）大崎有機工場
〒　899-8313
鹿児島県曽於郡大崎町野方5473番地

（3）松山有機工場
〒　899-7601
鹿児島県志布志市松山町尾野見1973番地

松山有機工場

3．環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
環境管理責任者：湯地　浩幸
環境管理事務局：礒脇　智一
連絡先　TEL　099-471-6050
FAX　099-477-2612
E-mail　info@gomizero.info

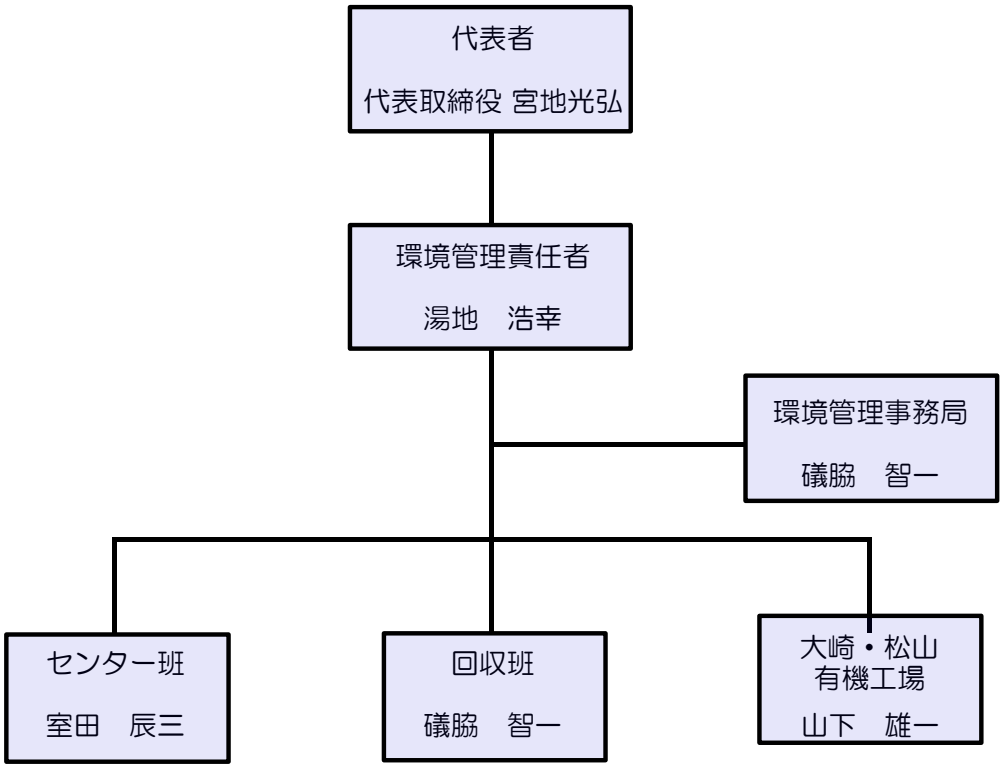
4．事業内容（登録の範囲）
- 一般廃棄物収集運搬業（受託・事業系）
- 一般廃棄物処理業（資源リサイクル）　本社工場
- 一般廃棄物処理業（堆肥化）　大崎有機工場・松山有機工場
- 産業廃棄物処理業　大崎有機工場・松山有機工場

5．創業
- 平成10年9月1日

設立
- 平成14年7月1日

6．事業規模
資本金　5百万円
従業員　55名（アルバイト・シルバー含む）
売上高　357百万円（平成29年7月～平成３０年6月）　そおリサイクルセンター
売上高　　４１百万円（平成29年7月～平成３０年6月）　大崎有機工場
売上高　　７７百万円（平成29年7月～平成３０年6月）　松山有機工場

7. 環境管理組織体制



8. 事業許可の内容

曽於市 （有限会社　そおリサイクルセンター）
・一般廃棄物収集運搬業許可証　　許可番号　曽市許可第103号
許可年月日：平成30年2月6日～平成32年2月15日
業　　種　：事業系一般廃棄物収集運搬業
取扱品目　：可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ・生ごみ

大崎町 （有限会社　そおリサイクルセンター）
・一般廃棄物収集運搬業許可証
許可年月日：平成31年4月1日～平成33年3月31日
業　　種　：一般廃棄物収集運搬業
取扱品目　：一般ごみ・生ごみ・粗大ごみ

大崎町 （有限会社　そおリサイクルセンター）
・一般廃棄物処理業許可証
許可年月日：平成31年4月1日～平成33年3月31日
業　　種　：一般廃棄物処理業（中間処理施設・破砕を含む）
取扱品目　：空缶・ペットボトル・その他プラ・古紙・乾電池・蛍光灯他

大崎町 （有限会社　そおリサイクルセンター）
・一般廃棄物処理業許可証
許可年月日：平成30年4月1日～平成32年3月31日
業　　種　：一般廃棄物処理業（堆肥化）
取扱品目　：生ゴミ・木くず（草木剪定枝等）

鹿児島県 （有限会社　そおリサイクルセンター）
・一般廃棄物処理施設設置許可証　許可番号　指令廃リ第1号
許可年月日：平成23年7月28日
業　　種　：ごみ処理施設（破砕施設）・（堆肥化施設）
取扱品目　：生ごみ・木くず（草木剪定枝等）

鹿児島県 （有限会社　そおリサイクルセンター）
・産業廃棄物処理施設設置許可証　許可番号　指令廃リ第4号の3
許可年月日：平成23年7月28日
業　　種　：木くずの破砕施設
取扱品目　：木くず

鹿児島県 （有限会社　そおリサイクルセンター）
・産業廃棄物処分業許可証　許可番号　04626115223号
許可年月日：平成26年12月28日～平成31年12月27日
業　　種　：中間処理（圧縮）・（破砕）・（石鹸化）
取扱品目　：廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず・
陶磁器くず・木くず・廃油

鹿児島県 （有限会社　そおリサイクルセンター）
・産業廃棄物収集運搬業許可証　許可番号　04619115223号
許可年月日：平成29年6月22日～平成34年6月21日
業　　種　：産業廃棄物収集運搬業
取扱品目　：廃プラスチック類・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず
陶磁器くず・がれき類・燃え殻・汚泥・廃油・木くず等

9. 施設等の状況

そおリサイクルセンター

収集運搬パッカー車　11台

収集運搬トラック　10台

フォークリフト等　5台

プラスチック減容機

発砲スチロール減容機

ペットボトル減容機

空き缶選別及び減容機

蛍光灯　破砕機

ＢＤＦ製造装置

中間処理施設処理能力

・プラスチック減容機	廃プラ類	12.9ｔ／日
・発砲スチロール減容機	廃発砲スチロール	0.16ｔ／日
・ペットボトル減容機	廃ペットボトル	3.00ｔ／日
・空き缶選別及び減容機	空き缶類	4.50ｔ／日
・蛍光灯破砕機	蛍光灯類	2.50ｔ／日
・ＢＤＦ製造装置	廃食油	0.2m³／日

有機工場

タイヤショベル　4台

ユンボ　1台

破砕機　2台

処理能力

松山有機工場

破砕施設	木くず（草木剪定枝）、生ごみ	8.64ｔ／日
堆肥化施設	木くず（草木剪定枝）、生ごみ	38.07ｔ／日

大崎有機工場

破砕施設	木くず（草木剪定枝）、生ごみ	9.12ｔ／日
堆肥化施設	木くず（草木剪定枝）、生ごみ	6.09ｔ／日

10．収集運搬及び処分量（平成３０年度）

単位：ｔ

廃棄物種別	区分	そおリサイクルセンター		
		本社工場	大崎有機工場	松山有機工場
一般廃棄物 収集運搬量	資源ごみ	5,647		
	粗大ごみ	480		
	生ごみ		1,267	3,147
	草木		1,165	948
	計	6,127	2,432	4,095
一般廃棄物 中間処理量	資源ごみ	5,647		
	粗大ごみ	480		
	生ごみ		1,267	3,147
	草木		1,165	948
	計	6,127	2,432	4,095
産業廃棄物 中間処理量	資源ごみ	0		
	粗大ごみ	0		
	生ごみ		0	0
	草木		46	21
	下水道・農集汚泥		0	296
	計	0	46	317

※産業廃棄物の収集運搬は、親会社の大隅衛生企業㈲が行い、当センターでは実績がありません。

11．そおリサイクルセンター事業概要

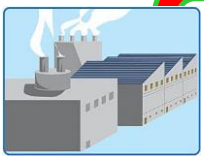
住民・行政・そおリサイクルセンターが協働で、曽於市・志布志市・大崎町の一般廃棄物の収集運搬と中間処理を行っています。 処理能力は約10万人規模の施設となっています。

- 一般廃棄物の収集・運搬及び中間処理場の運営・管理業務
- 産業廃棄物の中間処理場の運営、管理業務
- 堆肥の製造、販売
- 有機飼料、有機肥料の製造および販売
- 培養土、腐食土の生産、加工、販売

曽於市・志布志市・大崎町の資源リサイクルのシステム

資源として
再利用

専門リサイクル業者



異物の除去
破砕、圧縮

中間処理工場

収集業者が回収

ゴミステーション

ゴミの排出

住 民

指導・連携

行 政

分別品目とリサイクル製品

そおリサイクルセンター（収集運搬・分別・圧縮・梱包）			各種専門リサイクル業者
1. 空き缶類　アルミ缶 スチール缶	→ プレス機で圧縮	→	アルミ製品材料 鉄骨、建築資材
2. 生きビン 3. 茶ビン 4. 透明ビン 5. その他ビン		→	酒造メーカー再利用 茶ビン・防犯砂利 透明ビン・防犯砂利 タイル・土木建築資材・ビー玉・おはじき等
6. ペットボトル	→ プレス機で圧縮	→	服・軍手・卵パック等
7. ダンボール 8. 新聞・チラシ 9. 雑誌・雑古紙 10. コピー用紙 11. シュレッダー紙 12. 紙パック 13. 紙箱・包装紙類 14. その他の紙製容器・包装紙・袋		→	ダンボール 新聞等 雑誌等　雑誌・ダンボール ティッシュ等 トイレットペーパー等 ティッシュ等 下ボール・雑誌等 固形燃料
15. 蛍光灯 16. 乾電池		→	ガラス・金属・水銀に分けて再生 金属・有害物質に分けて再生
17. 古布		→	ウェス
18. 廃食油	→ 化学反応	→	軽油代替燃料、石鹸
19. プラスチック類	→ プレス機で圧縮	→	プラスチック製品材料
20. スプレー缶		→	溶かして金属製品
21. 雑金属		→	溶かして金属製品
22. 割りばし		→	堆肥
23. 陶器類		→	路盤材
24. 小型家電		→	各種金属、プラはＲＰＦ
25. 生ごみ		→	堆肥
26. 一般ゴミ		→	埋立
27. 粗大ゴミ	→ 手作業による分別 金属・木製品・その他	→	資材、固形燃料、埋立

廃棄物の約８割が資源として再利用されていま

事例　プラスチックリサイクルの流れ

ゴミステーションに排出

収集業者が回収

中間処理工場

破袋し異物の除去

機械で圧縮

1ベール200kg～350kg

リサイクル業者へ出荷

その他の中間処理装置・設備

発泡スチロール減容器

発泡スチロールインゴット

缶選別プレス装置

事例　生ごみ堆肥化の流れ

生ゴミ、草木を回収所に排出

収集業者が回収

大崎有機工場

生ごみを破砕

スパンに投入

切返し作業

水分を調整しながら
切返しを繰り返す

異物を除去

製　品

製品袋詰め

完熟堆肥「環ちゃん」

事例　菜の花エコプロジェクト

菜の花畑へ

「ヤッタネ！
菜ッタネ！」

ごみ収集車の燃料へ
ＢＤＦ（ディーゼル
エンジン代替燃料）

代替燃料製造装置

家庭の食卓

廃食油回収

生ごみ完熟堆肥
「おかえり環
ちゃん」

資源の循環

菜の花エコ石けん
「そおプ」

生ごみ回収

大崎有機工場へ

草木剪定枝

Ⅱ. 平成３０年度環境目標とその実績及び令和元年度・令和２年度・令和3年度の環境目標

全　社　総　計

・平成25年度(平成25年4月～平成26年3月）の実績を基準値に、5ヶ年中期目標の４年目である平成３０年4月から平成３１年3月までの平成３０年度環境目標とその実績について評価を行いました。

項　目		単　位	平成25年度	平成３０年度		評価
			H25／4～H26／3	H３０／4～H31／3		
			実　績（基準値）	目　標	実　績	
CO_2排出量	電気使用量	kg-CO_3	※2 206,764	201,699 2.0～3.0%削減	183,314 11.3%削減	達成
	燃料使用量	kg-CO_2	448963	432,997 3.0～5.0%削減	358,504 20.1%削減	達成
廃棄物	一般廃棄物	kg	※1 756.8	726.5 4.0%削減	666.0 11.9%削減	達成
水資源	水使用量	m^3	1791	1,791 4.0～5.0%削減	1,395 25.8%削減	達成
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入割合	%	※1 54	54.0 8.0%増	59.0 18.0%増	達成
環境配慮製品の開発販売	エコ石鹸売上	円	1,799,617	1,799,617 5.0～10%増	4,366,553 163.4%増	達成
化学物質の管理	化学物質の点検	回	年12回の実施	年12回の実施	年12回の実施	達成
地域社会貢献			週2回 工場周辺のごみ拾い	週2回 工場周辺ごみ拾い	週2回 工場周辺のごみ拾い	達成

・電気排出係数：九州電力H２９年度基礎排出係数 0.438kg-CO_2/kWhで遡って算出
※1は平成26年度実績を基準値とする　※２は平成25年度～29年度を基準値とする

・令和年度から令和３年度までの目標

項　目		単　位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
			H30／4～H31／3	H31／4～R2／3	R2／4～R3／3	R3／4～R4／3
			実　績（基準値）	目　標	目　標	目　標
CO_2排出量	電気使用量	kg-CO_3	※2 213,030	191,840 1.0%削減	189,902 2%削減	187,964 3%削減
	燃料使用量	kg-CO_2	358,504	354,897 1.0%削減	351,312 2%削減	349,036 3%削減
廃棄物	一般廃棄物	kg	※1 666.0	659.4 1.0%削減	652.7 2%削減	646.1 3%削減
水資源	水使用量	m^3	1,395	1,381 1.0%削減	1,367 2%削減	1,353 3%削減
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入割合	%	※1 59	59.6 1.0%増	60.2 2%増	60.8 3%増
環境配慮製品の開発販売	エコ石鹸・堆肥売上	円	4,366,553	4,405,730 1.0%増	4,456,678 2%増	4,497,625 3%増
化学物質の管理	化学物質の点検	回	年12回の実施	年12回の実施	年12回の実施	年12回の実施
地域社会貢献			週2回 工場周辺のごみ拾い	週2回 工場周辺ごみ拾い	週2回 工場周辺のごみ拾い	週2回 工場周辺のごみ拾い

・電気排出係数：九州電力H２９年度基礎排出係数 0.438kg-CO_2/kWhで遡って算出

Ⅱ. 平成３０年度環境目標とその実績及び令和元年度・令和２年度・令和3年度の環境目標

そおリサイクルセンター

・平成25年度(平成25年4月～平成26年3月）の実績を基準値に、5ヶ年中期目標の４年目である平成３０年4月から平成３１年3月までの平成３０年度環境目標とその実績について評価を行いました。

項　目		単　位	平成25年度	平成３０年度		評価
			H25／4～H26／3	H３０／4～H31／3		
			実　績（基準値）	目　標	実　績	
CO_2排出量	電気使用量	kg-CO_3	58,950	57,182 3.0%削減	60,525 2.67%増	未達成
	燃料使用量	kg-CO_2	247,024	239,614 3.0%削減	197,948 19.8%削減	達成
廃棄物	一般廃棄物	kg	※1 502.8	482.7 4.0%削減	415.0 17.6%削減	達成
水資源	水使用量	m^3	1,436	1,364 5.0%削減	1,094 23.8%削減	達成
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入割合	%	※1 50	54.0 8.0%増	59.0 18.0%増	達成
環境配慮製品の開発販売	エコ石鹸売上	円	37,730	3,962 5.0%増	94,782 251%増	達成
化学物質の管理	化学物質の点検	回	年12回の実施	年12回の実施	年12回の実施	達成
地域社会貢献			週2回 工場周辺のごみ拾い	週2回 工場周辺ごみ拾い	週2回 工場周辺のごみ拾い	達成

・電気排出係数：九州電力H２９年度基礎排出係数 0.438kg-CO_2/kWhで遡って算出
※1は平成26年度実績を基準値とする

・令和年度から令和３年度までの目標

項　目		単　位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
			H30／4～H31／3	H31／4～R2／3	R2／4～R3／3	R3／4～R4／3
			実　績（基準値）	目　標	目　標	目　標
CO_2排出量	電気使用量	kg-CO_3	60,525	59,920 1%削減	59,315 2%削減	58,710 3%削減
	燃料使用量	kg-CO_2	197,948	195,970 1%削減	193,990 2%削減	192,011 3%削減
廃棄物	一般廃棄物	kg	415	410.9 1%削減	406.7 2%削減	402.6 3%削減
水資源	水使用量	m^3	1,094	1,083 1%削減	1,072 2%削減	1,061 3%削減
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入割合	%	59	59.6 1%増	60.2 2%増	60.8 3%増
環境配慮製品の開発販売	エコ石鹸	円	94,782	95,730 1%増	96,678 2%増	97,625 3%増
化学物質の管理	化学物質の点検	回	年12回の実施	年12回の実施	年12回の実施	年12回の実施
地域社会貢献			週2回 工場周辺のごみ拾い	週2回 工場周辺ごみ拾い	週2回 工場周辺のごみ拾い	週2回 工場周辺のごみ拾い

・電気排出係数：九州電力H２９年度基礎排出係数 0.438kg-CO_2/kWhで遡って算出

Ⅱ. 平成３０年度環境目標とその実績及び令和元年度・令和２年度・令和3年度の環境目標

大崎有機工場

・平成25年度(平成25年4月～平成26年3月）の実績を基準値に、5ヶ年中期目標の４年目である平成３０年4月から平成３１年3月までの平成３０年度環境目標とその実績について評価を行いました。

項目		単位	平成25年度 H25／4～H26／3 実績（基準値）	平成３０年度 H３０／4～H３１／3 目標	平成３０年度 H３０／4～H３１／3 実績	評価
CO_2排出量	電気使用量	kg-CO_3	※1 67,988	66,288 2.5%削減	43,790 35.6%減	達成
	燃料使用量	kg-CO_2	76,990	239,614 3.0%削減	197,948 19.8%削減	達成
廃棄物	一般廃棄物	kg	※1 254	243.8 4.0%削減	251.0 11.8%削減	達成
水資源	水使用量	m^3	※1 445	427 5.0%削減	301 32.3%削減	達成
環境配慮資材購入	そおリサイクルセンターと共通					
環境配慮製品の開発販売	生ごみ堆肥売り上	万円	71	78 １0%増	54 ２４%減	未達成
化学物質の管理	化学物質の使用なし					
地域社会貢献			週2回 工場周辺のごみ拾い	週2回 工場周辺ごみ拾い	週2回 工場周辺のごみ拾い	達成

・電気排出係数：九州電力H２９年度基礎排出係数 0.438kg-CO_2/kWhで遡って算出
※1は平成26年度実績を基準値とする

・令和年度から令和３年度までの目標

項目		単位	平成30年度 H30／4～H31／3 実績（基準値）	令和元年度 H31／4～R2／3 目標	令和2年度 R2／4～R3／3 目標	令和3年度 R3／4～R4／3 目標
CO_2排出量	電気使用量	kg-CO_3	43,790	43,352 1.0%削減	42,915 ２%削減	42,477 ３%削減
	燃料使用量	kg-CO_2	197,948	195,970 1.0%削減	193,990 ２%削減	192,011 ３%削減
廃棄物	一般廃棄物	kg	251	410.9 1.0%削減	406.7 ２%削減	402.6 ３%削減
水資源	水使用量	m^3	301	1,083 1.0%削減	1,072 ２%削減	1,061 ３%削減
環境配慮資材購入	そおリサイクルセンターと共通					
環境配慮製品の開発販売	生ごみ堆肥売上	万円	54	95,730 1.0%増	96,678 ２%増	97,625 ３%増
化学物質の管理	化学物質の使用なし					
地域社会貢献			週2回 工場周辺のごみ拾い	週2回 工場周辺ごみ拾い	週2回 工場周辺のごみ拾い	週2回 工場周辺のごみ拾い

・電気排出係数：九州電力H２９年度基礎排出係数 0.438kg-CO_2/kWhで遡って算出

Ⅱ. 平成３０年度環境目標とその実績及び令和元年度・令和２年度・令和3年度の環境目標

松山有機工場

・平成25年度(平成25年4月～平成26年3月）の実績を基準値に、5ヶ年中期目標の４年目である平成３０年4月から平成３１年3月までの平成３０年度環境目標とその実績について評価を行いました。

項　目		単　位	平成25年度	平成３０年度		評価
			H25／4～H26／3	H３０／4～H31／3		
			実　績（基準値）	目　標	実　績	
CO_2排出量	電気使用量	kg-CO_3	※2　79,826	78,229 2.0%削減	78,999 1%減	達成
	燃料使用量	kg-CO_2	124,949	118,702 5.0%削減	95,104 23.9%削減	達成
廃棄物	一般廃棄物	kg	大崎有機工場と共通			
水資源	水使用量	m^3	水資源は使用しない為、水使用量は無し			
環境配慮資材購入			そおリサイクルセンターと共通			
環境配慮製品の開発販売	生ごみ堆肥売り上	万円	※1　９１	98 8%増	373 309%減	達成
地域社会貢献			週2回 工場周辺のごみ拾い	週2回 工場周辺ごみ拾い	週2回 工場周辺のごみ拾い	達成
化学物質の管理			化学物質の使用なし			

・電気排出係数：九州電力H２９年度基礎排出係数 0.438kg-CO_2/kWhで遡って算出
※1は平成26年度実績を基準値とする

・令和年度から令和３年度までの目標

項　目		単　位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
			H30／4～H31／3	H31／4～R2／3	R2／4～R3／3	R3／4～R4／3
			実　績（基準値）	目　標	目　標	目　標
CO_2排出量	電気使用量	kg-CO_3	78,999	78,209 1.0%削減	77,419 2%削減	76,629 3%削減
	燃料使用量	kg-CO_2	95,104	94,153 1.0%削減	92,251 2%削減	92,251 3%削減
廃棄物	一般廃棄物	kg	大崎有機工場と共通			
水資源	水使用量	m^3	水資源は使用しない為、水使用量は無し			
環境配慮資材購入			そおリサイクルセンターと共通			
環境配慮製品の開発販売	生ごみ堆肥売上	万円	373	377 1.0%増	384 2%増	384 3%増
地域社会貢献			週2回 工場周辺のごみ拾い	週2回 工場周辺ごみ拾い	週2回 工場周辺のごみ拾い	週2回 工場周辺のごみ拾い
化学物質の管理			化学物質の使用なし			

・電気排出係数：九州電力H２９年度基礎排出係数 0.438kg-CO_2/kWhで遡って算出

Ⅲ. 平成30年度環境活動計画の主要内容及び評価と次年度の取り組み

	リサイクルセンター	大崎工場	松山工場
1.二酸化炭素の排出量の削減			
（1）電気使用量の削減			
①不要照明の消灯。	○	○	○
②外灯タイマー時間の調整	○	○	○
③エアコンの冷暖気運転抑制	○	○	○
④節電表示を貼る	○	○	○
⑤エアコン布フィルター清掃を定期的に行う。	○	○	○
⑥エアコン室内温度設定を夏28℃　冬20℃に設定	○	○	○
（2）自動車燃料使用量の削減			
①無用なアイドリングをしない。	○	○	○
②車間距離を守り、急加速、急減速をしない。	○	○	○
③冷暖房を控え目にする。	○	○	○
④低燃費車に更新する。	○	○	○
2.一般廃棄物の削減			
①ゴミ分別を徹底する。	○	○	○
②ミスコピーの防止に努める。	○	○	○
③ミスコピーの裏紙使用。	○	○	○
④LAN活用による事務の合理化。	○	○	○
3.水資源の削減			
①給水栓付近に節水呼びかけ表示をする。	○	○	○
②雨水タンクの設置。	○	○	○
③雨水を植木や洗車に利用する。	○	○	○
④節水こまの取り付けを行う。	○	○	○
4.原材料及び事務用品のグリーン調達			
①事務用品購入の際、グリーンマークの確認	○		
5.環境配慮製品の開発・販売促進			
①環境学習・視察等での宣伝	○	○	○
②地域農家などへの営業活動	○	○	○
6．有害な化学物質の管理			
①月１回の保管並びに管理状況の確認	○		
7．地域社会貢献	○	○	○
①週2回の工場周辺のごみ拾い	○	○	○

○　実施　　△　ほぼ実施　　×　未実施

【次年度の取り組み】

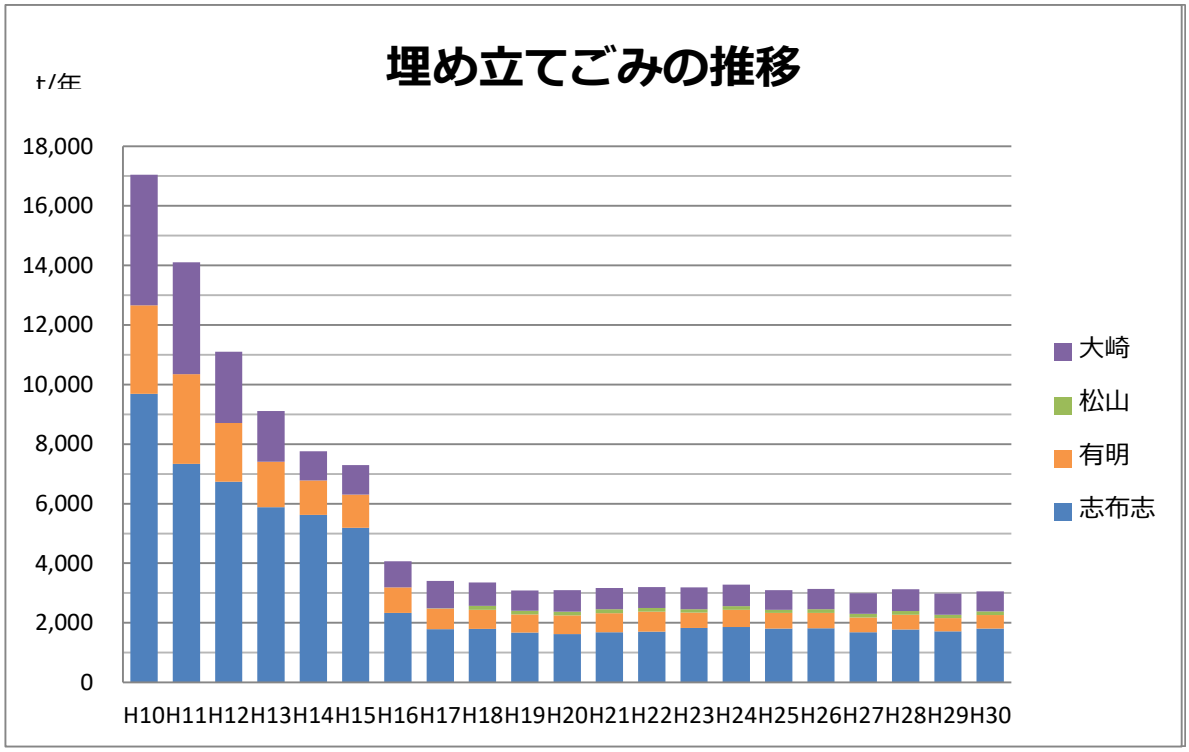
平成31年度は取り組みを継続・強化していき達成を目指します。その他の部署・部門においても環境方針・目標・活動計画の周知徹底をし目標達成を目指していきます。

Ⅳ　中間処理による埋立ごみ量の削減

志布志市・大崎町はごみ焼却場が無く、全てのごみは資源化と埋立で家庭ごみを処理しています。その資源化の中間処理をそおリサイクルセンターで行っています。

現在は、80%以上が資源化され、住民・行政・当リサイクルセンターによる地域循環型のしくみが出来ています。下記グラフは、家庭などからでるごみの埋立量の削減推移の実績です。

志布志市・大崎町の埋立てごみ量の推移



＜効　果＞

1．行政のメリット

焼却処分すると約35円～50円の処理費がかかるが、堆肥化することにより、生ごみで約15円、草木で約12円の処理費で大幅なコストダウンになっています。また、有機堆肥は、有料で販売しています。

2．地域住民のメリット

ごみの分別を始めたことで一人当たりのごみ処理経費の削減につながり全国平均の一人当たりのごみ処理経費の約４割から５割削減する事が出来ています。また、生ごみの回収を週３回実施しており悪臭の防止・動物によるごみの散乱を防止する事も出来ています。

3．ごみ処理費の比較（一人当たり）

日本全体	15,500円／人
鹿児島市	8,465円／人
志布志市	10,390円／人
大崎町	7,700円／人

出展：環境省平成２９年度「一般廃棄物の排出及び処理状況等について」より

Ⅴ 代表者による全体の評価と見直し

エコアクション21への取り組みにより、全職員の環境に対する意識が高まっています。
環境マネジメントシステムも一部の取組から全体へと広がっています。今後も継続して
全員参加で取り組む活動になるようにシステムを強化していきます。
環境活動計画においては、そおリサイクルセンター・松山有機工場ともに電力の削減の目標が
でした。大崎有機工場においては一般廃棄物・環境配慮製品の開発販売の目標が未達成でした
新事業が本格的に稼働し始め、今後も新事業の実験等が続く事が予想されるので全従業員に
作業効率・手順・作業優先等をしっかりと把握・周知徹底を行い、電力削減に努めていきます
廃棄物削減についても、分別の徹底・コピーミスの削減・両面コピーの使用徹底を職員に再度
周知・徹底していきます。また達成した各部門においても、引き続き職員への環境方針・目標
活動計画の周知徹底を行い活動を強化していきます。
今後も全職員エコ意識を高め、地域と共に環境対策に取り組んでいきます。

Ⅵ 平成30年度環境関連法規制等の順守状況、法違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法・条例等は次の通りです。

法令・条例名	該当する設備・項目	要求事項
廃棄物処理法	一般廃棄物収集運搬業	許可・更新 保管表示 処理実績報告
	一般廃棄物処理業 （中間処理）	
	一般廃棄物処理業 （堆肥化）	
	産業廃棄物収集運搬業	許可・更新 保管表示 マニュフェスト発行管理 処理実績報告
	産業廃棄物処分業 （圧縮・破砕・燃料化・石鹸化・堆肥化）	
家電リサイクル法	テレビ・冷蔵庫 洗濯機・エアコン	廃棄時届け出
浄化槽法	合併浄化槽 10人槽	設置届け出 水質検査 定期点検
自動車リサイクル法	自動車	廃棄時届け出 新車購入時
フロン排出抑制法	業務用空調機	定期点検記録
消防法	軽油	少量危険物貯蔵届出 維持管理
	BDF（代替燃料）	
	メタノール	
劇物・劇毒物取締り法	メタノール（劇物）	少量危険物貯蔵届出 維持管理
環境保全協定書	角堂自治会（大崎町）	協定 騒音など測定結果報告 異常時の連絡、他
	学校区自治会（大崎町）	
	村岡団地（大崎町）	
	桃木自治会（志布志市）	

環境関連法規制等の順守状況を評価した結果、環境法規制等の逸脱はありません。
また、過去3年間にわたって法的違反や訴訟、苦情はありません。（平成31年3月末現在）

Ⅶ　平成３０年度地域環境活動の記録・その他の活動・環境活動の事例

①会社周辺の清掃活動
（毎週月曜日、木曜日、散乱ごみ拾い）

②環境学習
（農業体験、環境学習）

③視察受入

以　上